



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ 上場取引所 東
コード番号 2180 URL https://ssug.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 大竹 貴也 TEL 03-6894-3233
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	3,246	△30.6	278	△23.0	286	△29.0	96	△55.0
2023年6月期第1四半期	4,676	35.8	361	157.2	404	89.0	215	68.4

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 31百万円 (△88.9%) 2023年6月期第1四半期 285百万円 (141.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	6.50	6.46
2023年6月期第1四半期	14.41	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	7,411	3,539	45.4
2023年6月期	8,595	3,728	41.4

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 3,364百万円 2023年6月期 3,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2024年6月期	-	-	-	-	-
2024年6月期（予想）	-	5.00	-	15.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	10.8	1,560	20.3	1,540	15.3	930	5.1	62.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	15,192,100株	2023年6月期	15,191,600株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	277,456株	2023年6月期	277,456株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	14,914,149株	2023年6月期1Q	14,940,577株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意点)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2023年11月13日（月）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(企業結合関係)	9
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年7月1日～2023年9月30日)における当社グループは、PRを軸として、グループシナジーを創出しながら、コミュニケーションに係る幅広いソリューションを提供してまいりました。

中長期的な企業価値向上を目指す当社グループは、成長の加速と経営効率改善の双方を追求するため、(株)サニーサイドアップを存続会社とする連結子会社間の吸収合併を行い、2023年7月1日を効力発生日として(株)スクランブルを、9月1日を効力発生日として(株)ワイズインテグレーションを合併しました。2023年9月、中長期経営方針に沿って、XR技術を用いて新たなブランドコミュニケーションを実現する「ブランドテック」の育成に着手したほか、長期的視点で取り組む「サステナブルテック」の第一歩として、女性のウェルビーイング領域に特化したファンドに出資しました。また、経営の更なる効率化に向けて、ビジネスディベロップメント事業に含まれていた(株)アジャイルの株式を2023年7月に譲渡しました。

当社グループでは、活発化する企業のマーケティング活動を追い風に、コスメ・ファッション、食品・飲料等のPRのほか、商業施設・ホテルの開業、スポーツイベントの開催に伴うPRを順調に受注しました。また、これまでの実績や海外PRエージェンシーとの提携が強みとなり、円安等を背景に日本進出を図るグローバル企業からの案件も継続的に受注しました。

PRの受注やフードブランディング事業の売上高は好調に推移しましたが、前年同期に連結売上高を牽引した大手コンビニエンスストア向けの販促施策の減少により、事業全体で減収減益となりました。通期業績予想に対する進捗率は前年同期に比べて低いものの、当社利益計画に対して概ね順調に進捗しております。

なお、前年同期の営業外収益に助成金収入59百万円を計上しましたが、当第1四半期連結累計期間に助成金収入の計上はなく、イベント等への出資を通じてPR等のサービスを提供する連結子会社において、減損処理により出資金評価損96百万円を特別損失に計上したことから、営業利益以下の段階利益も減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	3,246百万円 (前年同期比 30.6%減)
営業利益	278百万円 (前年同期比 23.0%減)
経常利益	286百万円 (前年同期比 29.0%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	96百万円 (前年同期比 55.0%減)

当社グループは、(株)サニーサイドアップを存続会社とする連結子会社間の吸収合併を契機に、基幹事業を「ブランドコミュニケーション事業」として再定義し、資源配分に係る意思決定、業績管理及びシナジー効果等の評価を適切に行うため、「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載の通り、報告セグメントの変更等を行っております。以下の前年同期比につきましては、前年実績を変更後のセグメントに組み替えて表示しております。

セグメントの構成及び業績は次の通りです。

構成子会社	セグメント変更前	セグメント変更後
(株)サニーサイドアップ(コンテンツ関連部門を除く)	①マーケティング&コミュニケーション事業	①ブランドコミュニケーション事業
(株)クナムエンターテインメント		
(株)ステディスタディ		
(株)スクランブル(注1)		
(株)エアサイド	②セールスアクティベーション事業	
(株)ワイズインテグレーション(注2)		
(株)サニーサイドアップ(コンテンツ関連部門)	③フードブランディング事業	②フードブランディング事業
(株)フライパン		
SUNNY SIDE UP KOREA, INC	④ビジネスディベロップメント事業	③ビジネスディベロップメント事業
(株)グッドアンドカンパニー		
(株)サニーサイドエクス(注3)		

- (注) 1. 2023年7月1日を効力発生日として、(株)サニーサイドアップに吸収合併しております。
 2. 2023年9月1日を効力発生日として、(株)サニーサイドアップに吸収合併しております。
 3. 2023年7月1日付で(株)サニーサイドアップパートナーズより商号変更しております。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失

(単位：百万円)

		2023年6月期 第1四半期		2024年6月期 第1四半期	
セグメント変更前		(注)		セグメント変更後	
①マーケティング& コミュニケーション事業	売上高	1,562	3,878	2,360	売上高
	利益	418			
②セールス アクティベーション事業	売上高	2,316	566	491	利益
	利益	148			
③フードブランディング事業	売上高	634	634	838	売上高
	利益又は 損失(△)	△2			
④ビジネス ディベロップメント事業	売上高	162	162	47	売上高
	利益	27			

(注) 前第1四半期連結累計期間の実績を変更後のセグメントに組み替えて表示しております。

①ブランドコミュニケーション事業

当第1四半期連結累計期間より、従来のマーケティング&コミュニケーション事業とセールスアクティベーション事業を統合した当事業では、PRを軸に、プロモーション、スポーツマーケティング、ブランディング等、マーケティング及びコミュニケーションに関する多様なソリューションに加えて、店頭等の消費者とのコンタクトポイントで購買・成約の意思決定を促すためのノウハウ・ソリューションを提供しております。

(株)サニーサイドアップでは、クライアントニーズにきめ細かく対応した企画力とメディアリレーションを強みとして、特定の業種に限定することなく、国内外のクライアントの商品・サービス、施設等のPRを手掛けております。同社のコンテンツ関連部門では、タレントやキャラクター等のIP(知的財産)を活用したコンテンツ制作及び販促施策を手掛けるとともに、(株)ワイズインテグレーションの商品キャンペーンの企画及びグッズ制作、雑貨の商品企画やOEMの機能・ノウハウを移管しております。また、(株)スクランブルのインフルエンサーとYouTube、Instagram等のSNSを組み合わせたマーケティングサービスを取り込み、ソリューションの幅を広げております。

(株)クムナムエンターテインメントでは、強力なキャスティングネットワークと企画力を強みとして、日本及び韓国の人気アーティスト、有名プロスポーツ選手等を起用したブランディングやコンテンツ開発を手掛けております。(株)エアサイドでは、高いクリエイティビティとエンターテインメント業界とのリレーションを武器に、人気アーティストを起用したCMをメディアに紹介するPR等を手掛けています。(株)ステディスタディでは、ファッション・ライフスタイルブランドに関する専門的な知見やキャスティング力を活用し、PRやイベントの企画・制作・運営、コンサルティングを提供しています。

当第1四半期連結累計期間におきましては、吸収合併によるシナジー効果の最大化を目指し、(株)サニーサイドアップで取り込んだサービスを総合的に提案するとともに、生産性の改善に向けて、案件別収支管理や稼働体制の見直しを図りました。また、教育の拡充を図り、社内教育プログラム「SUNNY UNIVERSITY」において、経営陣や外部専門家を講師とする実践的なマーケティング講座を実施しました。これらの結果、クライアントとのリレーション強化への基盤が整備され、リテナー契約による売上高が大幅に伸長するとともに、クライアント当たり売上高も増加しました。同社ではまた、官公庁や地方自治体とともに地域の観光や文化振興支援等に携わってきた知見を活かし、観光産業や地域活性化に関するコンサルティング業務を行う「地方創生ユニット」を発足したほか、Z世代を代表するインフルエンサーをSNSマーケティングプロデューサーに迎え、デジタルコミュニケーションを強化するなど、変化を機敏に捉えたソリューションの開発・提供にも注力しました。

当事業では、(株)サニーサイドアップを中心に、海外コスメや食品・飲料、商業施設・ホテルの開業、スポーツイベントの開催に伴うPRが好調に推移しましたが、前年同期に売上高が大幅伸長した大手コンビニエンスストア向け販促施策の反動減が影響し、減収減益となりました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高 2,360百万円 (前年同期比 39.1%減)
セグメント利益 491百万円 (前年同期比 13.2%減)

②フードブランディング事業

当事業では、オーストラリア・シドニー発のオールデイダイニング「bills」の国内におけるブランディング、ライセンシングビジネス及び韓国におけるライセンス管理と店舗運営を行っております。

国内で直営7店舗、韓国で直営2店舗を展開する当事業では、当第1四半期連結累計期間に出退店はないものの、2022年5月中旬より同年12月のリニューアルオープンまで休業していた「bills 横浜赤レンガ倉庫」（神奈川県横浜市中区）が通常通り営業しました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、季節に合わせたメニュー提供や専用に開発された「bills house 日本酒」を楽しむイベントの開催等により、銀座店や表参道店を中心に売上が大幅に伸長しました。インバウンド需要が本格回復した大阪店、福岡店も好調に推移するなど、国内の収益改善が進み、事業全体で黒字を確保しました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	838百万円	(前年同期比	32.1%増)
セグメント利益	49百万円	(前年同期実績	△2百万円)

③ビジネスディベロップメント事業

当事業は、新規事業の開発・創出を通じてグループの事業領域を拡充する位置づけにあり、セグメント特性上、費用が先行する傾向にあります。

(株)グッドアンドカンパニーでは主に、ウェルビーイングや女性活躍推進等、社会課題の解決に資するコミュニケーションサービスを提供しています。(株)サニーサイドエクスでは、従来の商業施設及び建物の企画、開発、管理運営等に加え、2023年9月に自社内に設置したXRスタジオで最先端のデジタル技術を駆使したXR映像を制作し、新たなソリューションを提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、(株)アジャイルが連結対象外となり売上が減少したことに加え、XR事業に係る費用が先行し、事業全体で減収減益となりました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	47百万円	(前年同期比	71.1%減)
セグメント利益	3百万円	(前年同期比	87.0%減)

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて1,183百万円減少し、7,411百万円となりました。資産の内訳につきましては、流動資産が960百万円の減少により5,661百万円に、固定資産が223百万円の減少により1,749百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、未成業務支出金が367百万円増加したものの、現金及び預金が873百万円、売掛金が773百万円それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べて995百万円減少し、3,872百万円となりました。負債の内訳につきましては、流動負債が959百万円の減少により3,141百万円に、固定負債が35百万円の減少により730百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、買掛金が421百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べて188百万円減少し、3,539百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の41.4%より上昇し、45.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の連結業績予想につきましては、2023年8月14日に公表しました予想値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,089,935	2,216,652
受取手形	22,093	34,313
売掛金	2,620,516	1,846,951
商品及び製品	4,573	7,514
未成業務支出金	551,986	919,552
原材料及び貯蔵品	25,083	25,805
その他	314,635	615,952
貸倒引当金	△6,243	△4,846
流動資産合計	6,622,581	5,661,896
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	362,309	385,808
有形固定資産合計	362,309	385,808
無形固定資産		
のれん	276,121	265,766
その他	24,231	21,902
無形固定資産合計	300,352	287,669
投資その他の資産		
その他	1,355,869	1,134,782
貸倒引当金	△45,713	△58,563
投資その他の資産合計	1,310,155	1,076,218
固定資産合計	1,972,817	1,749,696
資産合計	8,595,398	7,411,592
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,989,016	1,567,213
短期借入金	586,000	536,000
1年内返済予定の長期借入金	181,491	152,002
未払法人税等	181,173	79,150
役員賞与引当金	153,255	-
契約負債	212,403	284,087
その他	797,646	522,920
流動負債合計	4,100,987	3,141,373
固定負債		
長期借入金	411,109	381,878
資産除去債務	99,107	99,492
その他	255,919	249,371
固定負債合計	766,136	730,742
負債合計	4,867,123	3,872,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,764	547,996
資本剰余金	696,127	696,360
利益剰余金	2,247,658	2,120,903
自己株式	△130,456	△130,456
株主資本合計	3,361,094	3,234,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,920	139,268
繰延ヘッジ損益	164	15,321
為替換算調整勘定	△22,960	△24,580
その他の包括利益累計額合計	200,124	130,009
新株予約権	143,559	146,434
非支配株主持分	23,496	28,228
純資産合計	3,728,275	3,539,477
負債純資産合計	8,595,398	7,411,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,676,164	3,246,393
売上原価	3,747,733	2,390,452
売上総利益	928,430	855,941
販売費及び一般管理費	567,289	577,788
営業利益	361,141	278,152
営業外収益		
受取利息	41	53
持分法による投資利益	-	281
為替差益	-	20,904
助成金収入	59,366	-
その他	10,067	10,179
営業外収益合計	69,475	31,419
営業外費用		
支払利息	2,407	1,329
持分法による投資損失	4,030	-
為替差損	12,260	-
過年度関税等	-	9,535
貸倒引当金繰入額	-	9,400
その他	7,614	2,413
営業外費用合計	26,312	22,679
経常利益	404,303	286,892
特別利益		
固定資産売却益	1,636	35
子会社株式売却益	-	37,880
特別利益合計	1,636	37,915
特別損失		
子会社出資金売却損	29,342	-
出資金評価損	-	96,616
特別損失合計	29,342	96,616
税金等調整前四半期純利益	376,597	228,192
法人税等	167,454	126,502
四半期純利益	209,143	101,689
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,169	4,732
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,313	96,957

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	209,143	101,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	264	△83,652
繰延ヘッジ損益	22,100	15,156
為替換算調整勘定	53,873	△1,619
その他の包括利益合計	76,237	△70,115
四半期包括利益	285,381	31,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,551	26,842
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,169	4,732

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社サニーサイドエックスが保有する株式会社アジャイルの全株式を譲渡したことに伴い、株式会社アジャイルを連結の範囲から除外しております。

また、当第1四半期会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社ワイズインテグレーション及び株式会社スクランブルは、当社の連結子会社である株式会社サニーサイドアップを吸収合併存続会社とする吸収合併が行われたことにより消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(企業結合関係)

共通支配下の取引等

(連結子会社間の吸収合併)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社サニーサイドアップを存続会社として、当社の連結子会社である株式会社ワイズインテグレーション及び株式会社スクランブルを消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2023年7月1日を効力発生日として株式会社スクランブルを、2023年9月1日を効力発生日として株式会社ワイズインテグレーションを合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称：株式会社サニーサイドアップ

事業内容：PR、プロモーション、ブランディング、スポーツマーケティング、IPを活用したコンテンツ・マーケティング等

(吸収合併消滅会社①)

名称：株式会社ワイズインテグレーション

事業内容：セールスプロモーションに関する企画・制作等

(吸収合併消滅会社②)

名称：株式会社スクランブル

事業内容：インフルエンサー・マーケティング

(2) 企業結合日

2023年7月1日 株式会社スクランブル

2023年9月1日 株式会社ワイズインテグレーション

(3) 企業結合の法的形式

株式会社ワイズインテグレーション及び株式会社スクランブルを消滅会社、株式会社サニーサイドアップを存続会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社サニーサイドアップ

(5) その他取引の概要に関する事項

本合併により、経営資源を集約して経営の効率化を図るとともに、基幹事業の更なる強化と成長分野への戦略的投資の双方を実現し、収益力の強化と成長の加速に繋げることを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理いたしました。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランドコミ ュニケーショ ン事業	フードブラ ンディング 事業	ビジ ネスディベ ロップメン ト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,878,932	634,681	162,550	4,676,164	-	4,676,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,660	934	10,990	38,585	△38,585	-
計	3,905,593	635,615	173,541	4,714,750	△38,585	4,676,164
セグメント利益又は損失(△)	566,457	△2,121	27,292	591,629	△230,488	361,141

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△333,892
全社費用(注)	103,404
合計	△230,488

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,360,720	838,665	47,007	3,246,393	-	3,246,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,400	1,133	520	9,053	△9,053	-
計	2,368,120	839,798	47,527	3,255,447	△9,053	3,246,393
セグメント利益	491,568	49,291	3,541	544,401	△266,248	278,152

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△5,211
全社費用(注)	△261,036
合計	△266,248

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは2023年5月19日に公表した中長期経営方針「成長に向けた戦略方針」において、基幹事業を「ブランドコミュニケーション事業」と再定義しております。当第1四半期連結会計期間より、(株)サニーサイドアップを存続会社とする連結子会社間の吸収合併を契機に、経営管理区分の見直しを行い、従来、「マーケティング&コミュニケーション事業」及び「セールスアクティベーション事業」に区分されていた事業を「ブランドコミュニケーション事業」に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づいて作成したものを開示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	
日本	3,683,162	488,820	158,650	4,330,634
アジア	111,168	145,860	3,900	260,929
米国	65,057	—	—	65,057
欧州	19,543	—	—	19,543
顧客との契約から生じる収益	3,878,932	634,681	162,550	4,676,164
外部顧客への売上高	3,878,932	634,681	162,550	4,676,164

当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	
日本	2,146,735	692,943	47,007	2,886,686
アジア	39,075	145,721	—	184,797
米国	147,609	—	—	147,609
欧州	27,300	—	—	27,300
顧客との契約から生じる収益	2,360,720	838,665	47,007	3,246,393
外部顧客への売上高	2,360,720	838,665	47,007	3,246,393

(注) 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。なお、前第1四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づいて作成したものを開示しております。